

平成30年度 大田圏域地域職域連携推進協議会 議事録

日時：平成31年1月22日（木）14：00～16：00

会場：県央保健所 2階 集団指導室

あいさつ（県央保健所長）

謝辞。

青壮年期の死亡を減らすことが重要であり、昨年度の計画見直しでも働き盛り世代への対策が強化されたところ より一層の地域・職域連携が重要となる

また健康増進法の一部改正により今後受動喫煙対策が進む

本日の会議は各機関からの情報提供及び共有がねらいであり、活発な議論をお願いする

議 事

1. 大田圏域の健康実態

（事務局 景山）

資料1

- 男女共に、平均寿命・65歳平均自立期間両方において伸びている
- 死因別は男女共に①悪性新生物、②心疾患 心疾患・肺炎の割合が他圏域より高め
- がん死亡率 肺がん：近年男性上昇、大腸がん：男性減少傾向、女性は国・県より高め
乳がん：上昇傾向
- 心疾患死亡率 国より高い、虚血性は低め
- 脳血管死亡率 低下傾向 ただし発症は男性県内で1番高い、女性2番
- 自殺死亡率 平成28年度は低下したが、傾向としては県内でも高めを推移
- 特定健診 受診率は高い 高血圧・脂質は県と同程度、糖尿病は男女共に県と比較して高い
- 喫煙率 県よりも高く、特に40から59歳までが県より高くなっている
乳幼児健診データ 県内2番目に喫煙率高い 祖父母の喫煙率が高い
県健康長寿パンフレットより 柱2、柱3参照 協議会構成団体で連携し進めていきたい

（協会けんぽ）

- 健診について 被保険者＋被扶養者12万5千人強 うち7万7千人が健診受診
全国と比べ受診率は高い状況（全国で9位、西日本2位）
対象者は増加傾向、H30年度は10万人強
- 生活習慣病予防健診実施の医療機関数は現在55施設
- 特定健康診査（被扶養者）の受診率向上に向けた取組
※被扶養者は女性であることが多く、女性が受けやすい内容を設定し、効果を出す
⇒無料のオプション検診（肌チェッカー）をセット
⇒健診スタッフを女性に
⇒市町村のがん検診をセット など
- 特定保健指導実施率 協会けんぽは35%目標 スタッフ数は限られることから、外部委託
中山間地域 平成30年10月～平成31年3月（有）さんびるへ委託
- ヘルス・マネジメント認定事業所
宣言事業所690社 うち認定事業所97社

※参考 大田圏域の認定事業所数：8社（平成31年1月24日時点）

(環境保健公社 浜田支所)

- ・集計は事業所の所在地で行っている(対象者の住所地ではない、事業所の本社所在地)
- ・圏域 男性 4763 人、女性 4278 人 40 代が 1 番多い
- ・脂質、肝機能、心電図の要精検者が多い、女性は貧血も多め
- ・60 歳以上は糖尿病の要精検率が高い、若年は肝機能の要精検率が高い

(JA 島根厚生連)

- ・邑智郡 3 町の健診を受託
- ・巡回ドックの特定健診適用、JA 職員家族への健診案内、受診に効果あり
- ・問診(咀嚼に関する質問)の回答状況 およそ 7~8 割が「噛める」と回答

Q 前田先生より

- ・咀嚼機能について、保健指導につながった人への対応、つながっていない人への対応は?

A 厚生連より

- ・保健指導は町より委託を受けていないので、取り組んでいない

A 邑南町より

- ・H24 より歯科相談している 歯科衛生士が対応し、必要に応じて歯科受診カード手交
必要に応じて栄養士も含めて対応している 潜血反応で判断している

A 川本町より

- ・保健指導の対象者は対応しているが、そうでなければ対応していない

前田先生：健診から歯科につなげることは難しい 何か良い方法はないか PR 等

事務局：市町の健康増進計画の中に対策を入れていると思うが、本日の会で結論を出すのは
難しいか

2. がん検診について(事務局 篠原) 資料 2

- ・がん検診は健康な人(自覚症状がなく、経過観察等もしていない人)が受けるもの
何かしら自覚症状があれば、検診ではなく受診であることを引き続き案内いただきたい
- ・がん検診の効果を出すには①正しい検診、②正しい体制、③受診率向上に取り組んでいく
ことが必要
- ・圏域の受診率はおおむね国・県より高め 邑智郡は集落ごとに保健委員(保健推進員)が戸
別訪問・検診取りまとめ、未受診理由も聞き取り把握。次年度の名簿づくりや受診勧奨資材
に反映
- ・精密検査もおおむね国・県より高め
- ・検診の受けやすい体制づくりは、様々な方法で実施されている
川本町~乳がんの検診車を事業所に配置 就業時間内に受診が可能となった 次年度は乳
がんもお願いする予定

3. 各構成団体の取組 資料 3

(大田市歯科医師会)

大田市では糖尿病の医科歯科連携を進めている 咀嚼機能の件も連携して取り組んでいき
たい 糖尿病の人を歯科につなげる仕組みづくりをしていかなければならないが、認知が進ま
ない状況 PR を

(島根産業保健総合支援センター)

大きな企業だと産業看護職を採用しているが、若干名であることが多く、現場の悩みを抱え

ている 情報共有の目的で今年度から交流会を開催（2回）

「治療と仕事の両立支援対策」は法的な取り決めではないので、引き続き周知をしていかねばいけない 出張相談の場所も増えている 1月～浜田医療C、H31年4月～島根大学HP
時期未定～益田日赤HP 是非センター発信のメールマガジン登録を
（浜田労働基準監督署）

風疹対策：妊娠前の抗体検査、事業者にも理解・対策検討をお願い

働き方改革：H31.4月～ライフワークバランス確保目的 産業医・産業保健機能の強化
長時間労働者に対する面接指導等の流れ、上限時間が変更となる

年休時季指定義務：通常は労働者からの申請により有給休暇を取得するが、取得率が低く、
事業主側が時季決定し取得させる制度が新設

（事務局）産業医の機能強化についていかがか？

（医師会：川上先生）

時間外労働は、ほとんどの事業所では基準内に収めるように努力している 研究職など成果・
締め切りがあるところは、指示に従わないところもある それにより体調崩すことも
産業医が話をしても強制力がないので、そこで終わってしまうのは問題かもしれない

（浜田労働基準監督署）

特殊な職種は本人の申し出が必要 50人未満の職場でも面接指導を受けなければいけないの
で、産保C等利用してほしい

（大田市）

大田市健康づくり優良事業所表彰制度をH29から実施 市長賞を受賞するまでは何度でも応募
できる制度 具体的な取組方法がわからないと言われる事業所が多いが、この制度に応募さ
れた事業所は、賞を受けた後に改善されている状況

その他の取組 健診会場に出向き、いろいろな取組制度の周知 企業と協力して検診の場をセ
ット 子どもの健診に併せ親へ勧奨 小学校等において学校保健会による保護者への働きか
けなどを実施

（邑南町）

町事業をうまく利用してもらうよう事業所訪問時に案内 夜間の健康講座、CT検査は利用が
多い 出前講座は5分～1時間 いろいろな内容をメニュー化し事業所へ案内 商工会と連携
しメンタルヘルスの講演会を実施 働きざかり部会や子どもと一緒に食の問題、課題に対して
取組をした

（大田市商工会議所）

働き方改革のセミナーを3回実施した 100社近い事業所参加あり

大田市においては、ここ10年で労働者が20%以上減少、さらに向こう5年で10%減少す
る見込み 大手の人材募集により零細企業に人手不足が生じている 生産性アップと働き方
改革に取り組まなければならない

（銀の道商工会）

保健所からの資料を総会などで企業に配布している 公社実施の事業所健診は、毎年温泉津会
場で実施されていた 今年実施無かった旨企業から聞き取った 今後はどうなるか

（環境保健公社）

健診会場については、スタッフ・会場駐車場キャパなどの兼ね合いで、変更することがある
原則、毎年同じ会場で同じ時期で実施する予定でいる

（事務局）

引き続き受診しやすい体制をとっていく

4. 働く人の健康づくり講座の評価、次年度の方向 (事務局 篠原) 資料4

- ・初めての参加者が75%だったが、参加者は内容にほぼ満足
- ・自由記載欄にはグループワーク実施が好評価、他の取組事例を知りたいことがうかがえる
- ・希望内容はメンタルヘルス、職場の健康づくり、健診後の具体的なフォロー体制など
- ・次年度の講座実施は順番では大田市内での実施となる

(大田市)

ぜひ実施してほしい

(島根産業保健総合支援センター)

セミナーの内容は、アンケートの希望数が少なくても何らかの形で叶えてあげるとよいのでは。セミナーのような形だけでなく、各事業所で行っているたばこ対策を情報交換するなど、グループワーク、勉強会など少人数の会を何度か実施するのでもよいのでは。テーマによって労基や保健師を講師にしてもよいのでは

(事務局)

大田市内で1回実施させてもらう方向で、やり方は今後検討していく。働き方改革や治療しながら働くことなどテーマはいろいろと持ちようがあると思う。また相談させていただきたい

5. 健康増進法一部改正に伴う動き (事務局 篠原) 資料5

改正にあたり基本的な考え方として3つあげられているので、それを踏まえ取り組んでいただきたい。施設は第1種と第2種に分かれるが、詳細は今後政省令で示される。第2種は原則屋内禁煙であるが、経営判断により喫煙スペースを設けることもできる(基準あり)。義務内容と義務違反時の対応も記載されているので確認いただきたい。20歳未満の立ち入り禁止については従業員にも適用されるのでご承知いただきたい。パブリックコメントで第1種の対象施設案及び掲示例が出されていたので、必要に応じ確認を

閉会あいさつ(県央保健所長)

地域の現状、様々な取組を知ることができたと思う

産業保健分野の新しい動きも勉強になった。今後の取組にそれぞれ活かしていただきたい

～各構成団体から提供いただいた資料は下記のとおりです～

協会けんぽ島根支部：保健事業の取組状況について

環境保健公社浜田支所：事業所健診(一般定期健康診断等)実施状況

JA 島根厚生連：特定健診・がん検診受診状況、問診における咀嚼に関する質問への回答状況 等

島根産業保健総合支援C：第2回産業看護職交流会、メールマガジン登録チラシ

浜田労働基準監督署：風疹予防対策、産業医・産業保健機能の強化、年次有給休暇の時季指定義務

大田市：健康づくり優良事業所表彰事業

邑南町：平成30年度健康長寿おおなん推進会議 実施計画

資料の準備、当日のご説明ありがとうございました